

(平成19年6月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>6月期の野菜の市況については、果菜類の入荷が全般的に増え、葉菜類、土物類においては一部の品目で入荷減が目立った。品目別には入荷の差があったものの、全体としては前年並みの入荷量となった。</p> <p>価格は、入荷増の品目に加え、入荷減となった品目の一部においても単価安が目立ち、全体としては11%下回った。</p> <p>品目別には、トマト、ナス、生椎茸、人参、牛蒡が前年入荷を上回り、長芋、胡瓜、玉葱、白菜、キャベツ等では入荷減となった。また、前年より入荷が上回った品目を中心に単価安となり、入荷減となった白菜、キャベツ等においても単価安となるなど、消費の低迷が伺われる。</p> <p>根菜類は、入荷が5%増加し、価格は29%安となった。</p> <p>葉菜類は、入荷が5%減少し、価格は4%安となった。</p> <p>果菜類は、入荷が8%増加し、価格は12%安となった。</p> <p>土物類は、入荷が9%減少し、価格は16%安となった。</p>
果 実	<p>果実の入荷状況は、スイカ、ブドウ等は、春先の天候にも恵まれ入荷増、一方、桜桃、枇杷、メロン類は入荷減となつたが、果実全体としては、前年同期を5%上回る結果となつた。</p> <p>価格は、入荷増の単価安となった品目がやや目立ち、果実全体では前年同期を3%下回つた。</p> <p>柑橘類は、入荷が8%減少し、価格は16%高となった。</p> <p>りんごは、入荷が14%減少し、価格は4%高となった。</p> <p>ぶどうは、入荷が40%増加し、価格は12%安となった。</p> <p>メロンは、入荷が19%減少し、価格は5%高となった。</p> <p>スイカは、入荷が22%増加し、価格は16%安となった。</p>

主要品目(野菜)	市況の概況
【根菜類】	
長大根	青森県、北海道が中心の入荷。天候に恵まれて豊作傾向であったが、入荷量としては前年並みとなった。 価格は、消費の低迷から、前年同期を12%下回った。
洋人参	兵庫県、和歌山県、長崎県、徳島県からの入荷。各産地ともに作柄順調で、入荷量としては前年同期を11%上回った。 価格は、太物主体の入荷に加え、徳島県、長崎県においては産地に残量が多く、今後も順調な入荷が見込まれることもあり、前年同期を46%下回る結果となった。
【葉菜類】	
はくさい	長野県を中心に茨城県、九州産の入荷。長野県については準高冷地、高冷地とともに4月～5月の定温と旱魃の影響から生育が遅延傾向で、また、茨城県、九州産の急激な品質低下も重なり、入荷量は前年同期を14%下回った。 価格は、消費の低迷による入荷減での単価安が続き、前年同期を27%下回った。
キャベツ	茨城県、兵庫県を中心に、鳥取県、長野県が続き、下旬からは群馬県からも入荷。鳥取県は作付け面積の減少から、また、兵庫県は前進出荷の影響から入荷減となり、全体の入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は、消費の低迷による入荷減の単価安が続き、前年同期を20%下回った。
ほうれんそう	岐阜県を中心に、北海道、茨城県、長野県からの入荷。各産地とも天候に恵まれ、入荷量は前年同期を6%上回る結果となった。 価格は、入荷増の影響で単価安となり、前年同期を12%下回った。
レタス	長野県を中心に、北海道からの入荷。生育作柄ともに良好に推移し、大玉傾向で、入荷量は前年並みとなった。 価格は、業務加工、一般消費ともに堅調な荷動きとなり、高値推移した前月にはやや劣るものの、前年同期を14%上回った。

【果菜類】	
きゅうり	<p>滋賀県,高知県,宮崎県を中心に,下旬ごろから福島県,京都府,愛媛県が続いて入荷。春きゅうりは前進出荷傾向となり下旬から入荷が減少した。また,夏秋きゅうりの出遅れもあり,入荷量は前年同期を8%下回った。</p> <p>価格は,入荷減の影響を受け,前年同期を7%上回った。</p>
なす	<p>高知県,岡山県を中心に入荷。後続する徳島県については,初夏の雹害等により若干の出荷遅れとなったものの,全体の入荷量としては,前年同期を19%上回った。</p> <p>価格は,入荷増に加え,各地とも施設生産分の終了に伴う品質低下が進み,下位等級中心の入荷となったため,前年同期を25%下回った。</p>
トマト	<p>北海道を中心に,近郷産地も最盛期を迎え,全体の入荷量としては前年並みとなった。</p> <p>価格は,順調な入荷のために単価安となり,前年同期を12%下回った。</p>
ピーマン	<p>茨城県,大分県を中心に入荷。安定した入荷となり,全体の入荷状況は前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は,潤沢な出回りのために単価安となり,前年同期を12%下回った。</p>
【土物類】	
ばれいしょ (メーク含む)	<p>長崎県,静岡県,三重県からの入荷。単価安の影響を受けて産地からの出荷が滞り,入荷量は前年同期を12%下回った。</p> <p>価格は,メークイン,馬鈴薯とともに消費低迷による単価安が継続し,前年同期を30%下回った</p>
たまねぎ	<p>兵庫県を中心に,佐賀県,香川県,大阪府からの入荷。一時貯蔵された物が主体であったが,前月の単価安の影響を受けて産地からの出荷が滞り,入荷量は前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は,入荷減により前月の単価安から回復し,結果的に前年並みとなった。</p>
【その他野菜】	
青梅	<p>和歌山県を中心に,福井県,奈良県からの入荷。作況,品質に問題はなく,入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は,近年の消費低迷のため下落傾向で,単価安であった前年同期よりさらに12%下回る結果となった。</p>

主要品目(果実)	市況の概況
ハウスみかん	<p>佐賀県,長崎県,和歌山県からの入荷。全国的に生産量が減少している中でも安定した入荷となり,結果として前年並みの入荷となった。</p> <p>価格は,前年並みの入荷量ながら安定した需要があり,前年同期を11%上回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県産のみの入荷。保存事情により前進出荷されたために,産地の残量が少なく入荷量も減少,前年同期を23%下回った。</p> <p>価格は,品質に若干問題があるものの,前年並みとなった。</p>
さくらんぼ	<p>山梨県,山形県を中心に入荷。山形県が低温の影響で不作となり,全体の入荷量は前年同期を27%下回った。</p> <p>価格は,降雨,高温の影響で品質が低下したにも関わらず,入荷減の影響を受け,前年同期を24%上回った。</p>
デラウェア	<p>島根県,奈良県,大阪府,山梨県からの入荷。天候も良く生育良好で入荷量は増え,全体としては前年同期を52%上回った。</p> <p>価格は,入荷量が多かったために単価安での推移となり,前年同期を16%下回った。</p>
アールス	<p>静岡県,宮崎県を中心に,高知県,熊本県,愛知県からの入荷。いずれの産地も作付けが減少し,特に愛知県,高知県からの入荷減の影響が大きく,全体としては前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は,入荷が減少したため,前年同期を4%上回った。</p>
アンデス	<p>熊本県,茨城県,山形県からの入荷。全国的に生育が早く5月が最盛期となったために,入荷量は前年同期を41%も下回る結果となった。</p> <p>価格は,入荷減の影響を受けて,前年同期を19%上回った。</p>
アムス	<p>熊本県,愛媛県,鳥取県からの入荷。全国的に生育が早く,熊本県からの入荷が早く終了したために,全体としては前年同期を19%下回った。</p> <p>価格は,入荷減の影響を受けて,前年同期を9%上回った。</p>
すいか	<p>熊本県,長崎県,鳥取県,愛知県からの入荷。主力である鳥取県からの入荷開始が昨年より早かったこともあり,全体の入荷量は前年同期を20%上回った。</p> <p>価格は,悪天候により消費が低迷した影響を受け,単価安で推移し,前年同期を15%下回った。</p>